

こらぼ大森イベント掲示板

第2回 こらぼ de アート

- アートで結ぶ ちいき ひと こらぼ -

日 程：3/11（金）～13日（日）

時間帯：10：00～16：00

場 所：こらぼ大森 多目的室・軽食ルーム・会議室

内 容：

（展示）

・近隣町工場のご協力で、製品の一部や「試験片」等の展示をいたします。

・こらぼ大森をご利用いただいている団体・個人の皆さんの作品を展示します。

（発表）

○町工場のカ-「下町ボブスレー」と「下町ロケット」を支えた大森の町工場の「技」をその製品等と共にご紹介します。

○大森学園生徒の皆さんによる研究発表。
学習面でも自主活動でも大きな成果を上げて来られた大森学園高等学校。今回は学園生の皆さんに日ごろの研究成果を発表していただきます。

主 催：NPO法人大森コラボレーション

こらぼ大森ボランティア募集！

-地域の役にたちたい！それぞれが出来ることを-

内 容：お花の水やり、イベントの準備

本ニュースや冊子の袋詰め など

活動日：主に平日の日中。

個人の都合優先で来られる時で大丈夫です。週1回、集まれる方で集まり、ミーティングを行います。

現在のメンバー

：20代2名、30代1名、40代2名、
70代1名、80代1名

発 行：こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX：03-5753-6560

E-mail：c b c 10286@nifty.com

U R L：http://collabo-ohmori.com/

住 所：大田区大森西 2-16-2

大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

フレスコ画でまちを彩る

- 自然をモチーフに作品を作ろう -

第1回 日時：3/5（土）13：00～16：30

場所：こらぼ大森 多目的室

第2回 日時：3/19（土）13：00～15：00

場所：こらぼ大森

情報交流室Ⅱと会議室

内 容：教会の壁画などで有名なフレスコ画。
顔料で壁画を描く技法を学びます。
できた作品はお持ち帰り頂けます。また、左記の「こらぼ de アート」にて展示予定！

主 催：NPO法人大森まちづくりカフェ

講師：大野彩氏（壁画 LABO 主宰・フレスコ画家）

参加費：1500 円（2 回分・材料費含む・飲食費実費）

定員：20 名（要申込）

※メールでのお申し込みをお願いします。受取後、こちらから受付完了のメールを返信いたします。

office@ota-organic-farm.com（こらぼ大森情報交流室Ⅱ）

① メール件名「フレスコ画でまちを彩る講座」

② お名前（ふりがな）

③ ご住所（〒）

④ 電話番号（当日含む日中連絡可能）

⑤ メールアドレス※パソコンからメール受信可能なアドレス

好評につき第12回！こらぼ健康講座

-誰でも、いつからでも参加できますよ！-

日 程：2/18（木）14：00～15：30

対 象：おおむね 60 歳以上の方

場 所：こらぼ大森 多目的室

内 容：・健康体操

2パターンを各月で楽しめます♪

今回は「ころばん体操」

さらに脳トレ体操も。

・おはなしサロン

お一人参加も多いですよ！

※無料、申込み不要

主 催：NPO法人大森コラボレーション

共 催：さわやかサポート大森・平和島

こらぼ 大森 第12号 ニュース

2016年2月1日 発行

- 夜の街角に「火のよう～じん」
- LET'Sこらぼ 廃材を資源に 炭焼きプロジェクト
- 町工場を唄う フナクボ香織さん
- 本「人間国家」への改革—参加型の福祉社会を作る—
- 掲示板「こらぼ de アート」「フレスコ画で自然を描こう」など



夜の街角に「火のよう～じん」（カチ！カチ！）の声

大森消防署の管内では平成27年度65件の火事が発生しているそうです（1月24日現在、大森消防署ホームページより）。

大森北六丁目町会の市民消火隊の皆さんは、平和島駅前商店街の周辺など、町内を1時間ほどかけて夜警して、まわって下さっています（上のイラスト）。

防火・防犯のこの活動は、区内のほとんどの地域で、町会の皆さんによって、毎年、年末の一定期間と毎月数回とに分けて続けられています。

拍子木の音を聞きつつ、身近なところから防火・防犯について考えていきたいものです。

Let's こらぼ



廃材を資源に

ー炭焼きプロジェクトよりー

都内では有数の公園緑地面積を誇る大田区。町工場の優れた技術があり、そして区民活動のネットワークが日々この「こらぼ大森」でも育まれています。私たちが目指すのは、まちの持つ「資源」を活かし合う、循環型社会を大田区から生み出すことです。

大田区の公園整備で生まれる剪定枝等の樹木廃材は、現在「有料ゴミ」として捨てられています。そんな「もったいない」事態に胸を痛めたメンバーの「廃材を炭にして活用できないかしら？」との小さなつぶやきから2013年、本会は生まれました。

代表を務める樹木医・神田 多^{まさる}さんをはじめ、造園・環境など各分野の専門家たちが集まり研究会を発足。大田区のものづくり技術とネットワークで、樹木廃材をチップ化し炭を製造、その炭に障害者たちが落ち葉を集めて作った腐葉土と、大田区と災害時相互応援協定を結ぶ宮城県東松島市の牡蠣殻を混ぜて良質の土壌改良剤を作り、障害者就労支援施設で販売するという構想を練り上げました。

NPO法人都会で炭焼きプロジェクト

大田区大森西1-19-15藤東造園建設ビル4F

03-3766-5393

枝を広げ若葉をびっしりと茂らせていた公園の木が、ある日剪定されてスッキリ、という経験はありませんか？国道沿いの街路樹の剪定作業などを見ているとハラハラしますね。今回はそんな都会の伐採された樹木を炭にして、身近なところで役立てようというユニークな取り組みを始めた団体をご紹介します。

都会で炭焼きプロジェクト

高田 あや さん

この構想は2015年、大田区産業振興協会主催「第6回大田区ビジネスプランコンテスト」でも「共立信用組合賞」の評価をいただくことができました。現在はNPO法人格も取得し、本格的な事業化にむけて、ひとつひとつ歩を進めています。

3月28日には子ども交流センターと連携し、炭づくり体験など、子どもたちと炭について楽しく学びながら一日を過ごす企画を構想中。

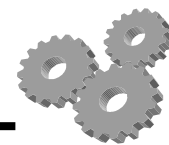
子どもも大人も、NPOも町会も企業も、障害があるひともないひとも、誰もが通う「小学校」。そんな出会いと学びのチャンスのある場として「こらぼ大森」に期待しています！



昨年度 ポレポレECOまつりでの炭作り体験の様子。子供達からは「炭ってなーに？」という声もちらほら！



町工場を唄う



歌手 フナクボ香織 さん

今もこらぼ大森入口に残る大森第六小学校の校章。ここは、始業のチャイムと共に自宅を駆け出しても間に合う程、まさしく目と鼻の先にあった私の母校でした。

昨年こらぼ大森の夏祭りに、歌手として再び訪れ唄わせて頂いた事は、とても感慨深い出来事となりました。

生まれてすぐ、亡き祖父の作った町工場の隣に家族で住み始め、父が二代目、5つ離れた弟はこの大森で生まれ現在、三代目社長となり必死に会社を守り立てています。私はとて物心ついた頃から唄う事が大好きな子供。不思議な程何の迷いもないまま、歌手というとなんとなく険しい道へと進みました。何をやっても上手く行かず、これを最後に夢を捨てようと思った時に作った楽曲がTV番組で取り上げられ、ようやくデビューを果たします。

その一方で不況と叫ばれる時代に突入し、中小企業の悲鳴の代弁者の様に、父や弟がTVのニュース番組などで度々取材されるようになります。

そしてそこではどんな希望や夢を語っても、

オンエアされるのは苦渋の表情やコメントばかり。そんな話を聞いていた私は、その現実を皮肉って曲を作ってみようと思い立ち「下町サンシャイン」という楽曲が完成。いつしかそれは私と家族と大田区を繋ぐ強い結び目となってゆきました。

ここ数年特に蒲田、大森で唄う機会が増え、昨年、大田区の皆様によってファンクラブまで結成して頂きました。町工場の油の匂い、弟と廃材を玩具代わりに遊んだ光景も鮮明に思い起こされます。ライブをすれば当時のご近所さんがフラリと顔を出してくれます。

故郷が懐かしいものではなく、またこうして身近にあることが嬉しい。時が経っても変わらずにいてくれた景色と共に、今日も唄い続けます。

フナクボ香織

5曲入りミニアルバム

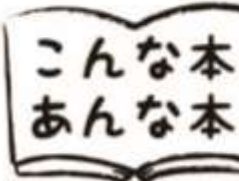
「下町サンシャイン」

価格 ¥ 1,500(税込)

発売元：トランジスターレコード

詳細はHPをご覧ください

<http://funakubokaori.com>



「人間国家」への改革－参加型の福祉社会をつくる－

こらぼ大森2F 情報交流室1の図書コーナーで貸出している本をご紹介します

著者の神野直彦氏は本書の中で、東日本大震災を経験した日本人は「人間の命」の重みと「共生の意識」と並んで、共同の課題に直面して誰もが傍観者ではなくその社会の構成員として参加しなければならないという「参加意識」を学んだのではないだろうか、と述べています。国際化とともに少子高齢化が急速に進む現代日本において、この指摘はますます重みを増してきていると言えるでしょう。神野氏は地方財政審議会会長も務められた財政の専門家。「生活保障」から「参加保障」へなど、今後の地域・



著 者：神野 直彦
出版社：NHKブックス